



平成28年 11月21日 NO.47

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269-2116
 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

常中魂は、あるものではなく、創るもの



「だから、三年生は、後輩のために、どのような常中魂を示して卒業を迎えるか、どんな後姿を見せるか、常中魂とは何かを、他人が決めるのではなく自分で考え、考えたことを態度で示す。それが常中魂になっていく。」
 質問してくれた三年生には、そう答えたいと思います。

『校長先生、常中魂って何でしょうか。』
 今朝、ある三年生が質問してきました。
 皆さんは、『常中魂』とは、何だと考えますか。
 常に皆さんに話してきたように、『常中魂』の**基本は、「常に正しかれ、常に豊かなれ、常に気高かれ」という常中の校訓の中に凝縮されています。**
 しかし、大切なのは、皆さん一人一人が創りだす『常中魂』の具体的な姿だと私は思います。
 左の写真は、教室移動した後のあるクラスの様子です。「時を守り、場を清め、礼を正す」そのような心構えがこの無人のクラスから感じられます。
 中段の二枚の写真をみてください。本校の三年生たちの自尊感情の調査では、実に80%以上の生徒が、自尊感情が高い状態であることが分かっています。
 おそらく、日本全国を探してもこのような学校はありません。では、なぜこれほどに自尊感情が高いのでしょうか。おそらく、日々の三年生たちの行いに要因があります。常に当たり前のようにボランティア活動をする三年生たちの姿からは、「二本ある手のうち、一本は人のために使う」という、常中魂が感じられます。
 下段の二枚は、話を聞く姿の素晴らしいことを示します。
 「話は、目と耳と心で聞く」つまり、聞くではなく聴くという心の在り方が『常中魂』なのだ、写真に映る生徒一人一人が、態度で示してくれています。
 『常中魂』とは、日々の当たり前の生活の中で、どのような心の在り方で臨むべきか、生徒の皆さん一人一人が決める、そして、創りあげていくものではないでしょうか。



2016/11/9 8:06am



2016/11/9 8:16am



2016/11/9 8:36am



2016/11/8 12:32pm